



市民病院 ハナちゃん通信

問合せ
市民病院管理課
☎(48)5050

看護部催事プロジェクトの新しい取組

広報へきなん4月15日号のハナちゃん通信でもご案内しましたが、看護部催事プロジェクトは「市民が健康に興味を持つことができる」「市民が病院職員の活動を知るきっかけとなる」ことを目的に、看護フェスティバルや健康講座などのイベントを企画運営しています。

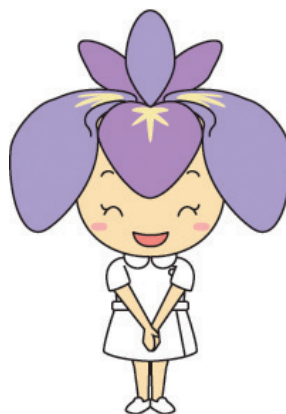
このプロジェクトは平成23年に発足しました。同じイベントを行うだけでなく、毎年新しい取組みを行っています。24年度には「小学生病院体験ツアー」を始め、25年度からは「看護師が行ういきいき健康講座」を始めました。健康講座は、現在看護師10人で月1回活動をしています。

来年度は「中学生の職場体験」に参画しようと、現在文部科学省の中学生職場体験ガイドを参考に、職場体験の必要性を勉強中です。

これまでも市民病院では、中学生の職場体験を実施してきましたが、もっと医療の現場を知っていたような取組みにしていきます。

中学生の皆さんが働く人と接することで、将来について少しでも考えることができるようにお手伝いしたいと考えています。

「医療の仕事って、厳しいけれど喜びもあるんだ」と感じてもらえるように、いろいろなアイデアを収集中です。来年度中学2年生になる皆さん、楽しみにしてくださいね。



碧南の歴史へのいざない

問合せ 文化財課内市史資料調査室 ☎(41)4566

NO.7 新川は大浜村だった？

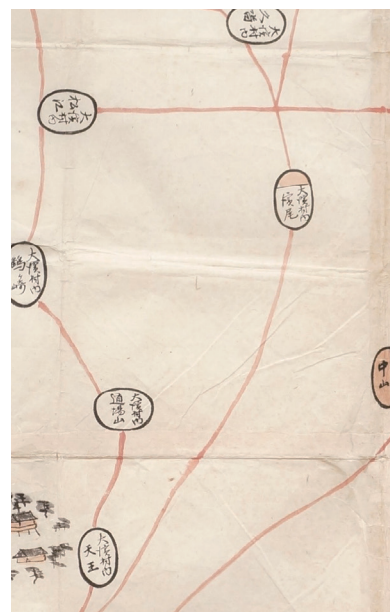
右の絵図は、元禄14年（1701年）に大浜村が旗本領から幕府領に替わり、地頭替えの際に作成されたものの写しの一部です。

この絵図にあるように大浜村本郷の北方、海岸沿いの天王、道場山、鶴ヶ崎、浜尾、松江などは大浜村内の集落（枝郷）でした。江戸中期以後は次第に発展して人口も増え、経済的な力も強くなりました。しかし、枝郷であるため、村役人そのほかで不利益が多く、明治14年（1881年）より分村運動がおき、翌年2月の臨時村会に「北大浜村」の分村を提案しました。ところが、議員数の多い南部の本郷の反対で否決されました。

そこで、北部の894人が県知事に次の要旨の分村願いを提出しました。

- ・大浜村は南北2里（8km）余の大村で、役場が1か所では不便である。
- ・南部は漁業商業が多く、北部は工業農業が多いので利害が一致しない。
- ・村会議員が戸数の多い南部に多く、北部が少ないので北部が不利になる。

この結果、明治16年（1883年）、大浜村の天王以北の978戸458人が、北大浜村として分立しました。6年後の明治22年（1889年）に、市制・町村制の実施により北棚尾村（東山・西山）を吸収合併して、明治25年（1892年）に町制施行し、新川町と命名しました。



△元禄14年（1701年）の絵図（写の一部（市所蔵））